

発刊にあたって

生命倫理の講義は、医学生、看護学生から始まり、薬学生をはじめとするコ・メディカル養成カリキュラムや国家試験出題基準への採用に至っています。さらにバイオ系学部においても講義が広がっています。その学問的背景については、推薦の辞を書いてくださいました青木清先生のお言葉に換えます。

われわれ編者は長年、生命倫理や医事法の講義を担当してきました。生命倫理と医事法において共通する項目が数多く存在しますが、その方向性には差異があります。しかし、共通する項目においてそれぞれの知識を補完しあうことは、より理解が深まることを経験して来ました。そこで本書を『生命倫理・医事法』との書名にした次第です。特に医療に直結する項目においては、現在の日本の医療制度、法令や裁判例を知る必要があり、その点に配慮した章立てをし、本書の特色といたしました。

執筆陣には、編者が親しく交流をしている先生方の中から、研究そして講義を担当している現役の先生方としました。担当の章は、それぞれの先生方が専門性を考慮して配分した経緯から、できるだけ各執筆者の個性を尊重して編集をしました。よって、共通する項目によっては記載の方向性が異なる可能性もあります。生命倫理は数学の公式とは異なり、多様性のある学問ですし、医事法においても解釈にはさまざまな説が存在することを理解してください。

本書は初学者を対象に執筆したものです。本書をきっかけにして、生命倫理や医事法に興味を持ち続けられる学生さんが誕生してくれれば望外の喜びです。

2015年5月

岐阜大学大学院教授 塚田敬義
九州保健福祉大学教授 前田和彦